

# STOP 糖尿病

2024年10月21日発行 糖尿病ケアチーム通信 第6号

## アウिकリ注フレックスタッチ 総量 300 単位/総量 700 単位



アウिकリ注フレックスタッチは週 1 回皮下投与の新規のインスリンアナログ注射液で、

2024年6月に製造販売承認を取得し現在販売準備中の薬剤です。

世界で初めてとなる週 1 回投与の新しい基礎 (Basal) インスリン製剤で、半減期は約 1 週間で作用が長時間持続します。皮下投与後、可逆的にアルブミンを結合しますが緩徐にアルブミンから解離しインスリン受容体と結合して作用することで血糖降下作用が 1 週間にわたり持続します。

【一般名】インスリンイコデク (遺伝子組換え)

【適応症】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用法及び用量】

通常、成人では 1 週間に 1 回皮下注射する。初期は通常 1 回 30~140 単位とし、患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常 1 週間あたり 30~560 単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。

【注意事項】

- Basal インスリンの投与を受けていない患者に本剤を投与する際には、本剤開始の投与量は 70 単位以下を目安とし、低用量からの投与を考慮するなど慎重に投与を開始すること。
- 連日投与の Basal インスリン製剤から本剤に変更する場合、以下を参考に患者の状態に応じて用量を増減する事
  - 本剤を 1 週間に 1 回投与する投与量は、それまで連日投与していた Basal インスリンの 1 日総投与量の 7 倍に相当する単位数を目安とする。
  - 連日投与の Basal インスリン製剤から本剤への切り替え時に血糖値が上昇するおそれがある。  
血糖値の上昇を防ぐため、  
2 型糖尿病患者→初回投与時のみ本剤の投与量を連日投与していた Basal インスリンの 1 日総量の 7 倍に相当する単位数を 1.5 倍に増量して投与することを推奨  
1 型糖尿病患者→初回投与時のみ、原則として本剤の投与量を連日投与していた Basal インスリンの 1 日総量の 7 倍に相当する単位数を 1.5 倍に増量して投与すること



ただし患者の血糖コントロール及び低血糖の発現リスクを踏まえ、初回投与量の増量の必要性を慎重に判断すること。

- 初回投与を増量した場合、2 回目の投与の際は連日投与していた Basal インスリンの 1 日総量の 7 倍に相当する単位数を投与すること。3 回目以降の投与量は、血糖コントロール、低血糖の発現状況等の患者の状態に加えて、本剤の作用特性を考慮して調節すること。

文責 薬剤師 新井山